

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

男女共同参画推進課 (内線：7792)

1 目 企画総務費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源	
ワーク・ライフ・バランス推進事業	2,834	4,009	△1,175				2,834	
トータルコスト	7,675千円 (前年度12,295千円) [正職員：0.6人]							
主な業務内容	シンポジウム実行委員会開催、シンポジウム運営、取組事例の募集・周知、労使公の意見交換会開催、モデル事業の実施							
工程表の政策目標 (指標)	企業経営者の意識改革促進、ワーク・ライフ・バランスを進めるための社内コミュニケーションの充実支援、両立支援にかかる就労環境の整備促進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

女性も男性もあらゆる年代の人が、人生の各段階に応じて能力を発揮でき、多様な働き方・生き方を選択できる社会を構築するため、企業、団体(商工、労働、男女共同参画等)、労働局等と連携して、地域に根ざしたワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の取組を推進する。

2 主な事業内容

区 分	計上予定額	内 容
ワーク・ライフ・バランス県民推進運動(拡充)	1,548	◇シンポジウムの開催 広く県民・企業に対し、ワーク・ライフ・バランスの推進について関心や議論を喚起するためシンポジウムを開催する。 ◇わたしの我が家のワーク・ライフ・バランス取組募集 個人や家庭におけるワーク・ライフ・バランスの取組のきっかけづくりとして、取組の実践例や実践のアイデアを募集し、その取組例を広く紹介することにより、県民の取組を促進する。 ◇とっとり版ワーク・ライフ・バランスの推進意見交換会 労使公が連携して、商工団体、労働団体との意見交換を行い、ワーク・ライフ・バランス推進の気運を高める。
ワーク・ライフ・バランス推進モデル事業(継続)	1,286	意欲のある中小企業(モデル企業)に、推進コンサルタント(社会保険労務士等)を派遣し、ワーク・ライフ・バランスの取組を支援。成果のあがった事例等を広く周知する。 モデル企業：3社(労働者数が50名程度までの中小企業)

3 これまでの取組状況、改善点

- ・シンポジウム：H20年度 鳥取市開催 参加者数 約300名
 H21年度 米子市開催 参加者数 約180名
- ・企業の取組推進：シンポジウムや業界団体の研修会において、取組を進める企業が講師となり取組事例を紹介。
 企業向けリーフレットを作成し、研修会や労務管理アドバイザーにより企業に配布。
 社内のコミュニケーションを円滑にするためのツールを検討中。
- ・企業実態調査：県内の常用労働者数10名以上の1,000事業所を対象に実施。
- ・モデル事業：モデル企業を公募し、東・中・西部の3社に推進コンサルタントを派遣し、取組実施中。

ワーク・ライフ・バランス推進に係る企業や県民の皆さんの理解は進んでいるとは言い難く、引き続き、企業、団体(商工、労働、男女共同参画等)、労働局等と連携した取組を推進する。